

令和4年度日本水産学会東北支部大会 日本水産学会東北支部長賞

【受賞事業】

小川原湖における2-MIB の増加に関与する因子の推定

【受賞者】

内水面研究所 静 一徳（遠藤 赳寛 研究員ほか共著者と共同受賞）

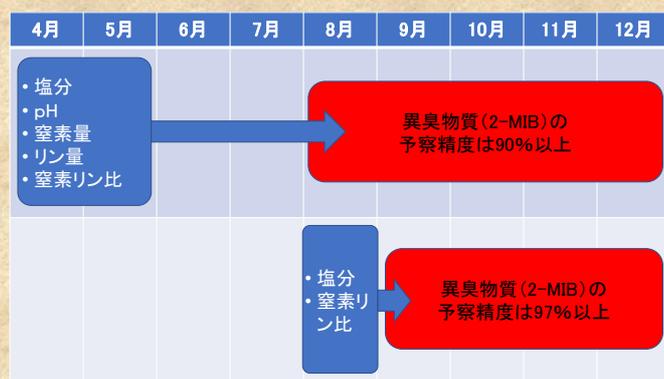
【受賞理由】

湖沼において水産物の墨汁臭被害の原因となる2-メチルイソボルネオール（2-MIB）は主にシアノバクテリアにより産生されるが、本生物は分類が困難で、その増殖を高精度に予察できた事例は無かった。

本研究は小川原湖における2-MIBについて、分子生態学的手法を導入して産生生物の特定を行い、詳細な組成を明らかにした初めての研究である。また高精度な発生予察モデルの開発に成功し、水産業の発展に大きく貢献するものである。



図1 単離培養株と2-MIB産生シアノバクテリアの顕微鏡写真



授賞式【令和5年2月7日】

図2 予察モデルの概要